

# 平成26年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成26年 7月 27日（日）12：00～13：40

開催場所：九州歯科大学病院棟11階大会議室

参加者：牧 憲司、奥 猛志、尾崎正雄、藤原 卓、山崎要一、西垣奏一郎、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井 香、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木舩敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、空田安博、橋本敏昭、久芳陽一、入江英仁、大倉秀一郎、佐伯 桂、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、西田郁子

欠席者：野中和明、柏木伸一郎、竹島 勇 (敬称略)

## 1、開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

## 2、会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

## 3、報告事項

### 1) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

西田準備委員長より、資料1を参考に準備状況について報告された。

演題申込みは、一般発表30題、認定医・専門医更新発表5題で、現在抄録集の作成中である。

### 2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

柳田大会長より、資料2を参考に報告された。

(日程) 平成27年11月15日(日曜)

(場所) 福岡県歯科医師会館(予定)

(メインテーマ) 小児歯科における医療連携

(大会長) 柳田 憲一

(大会長補佐) 野中 和明

(準備委員長) 西垣 奏一郎

(事務局) 九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野

基調講演 福岡市こども病院・福重院長

特別講演 アメリカの小児歯科医

シンポジウム 開業医、大学病院、病院歯科の先生

### 3) 日本小児歯科学会九州地方会HPについて

奥広報委員長より、資料3を参考にホームページの現状について説明された。

今後、研修会報告のページを作成する予定であり、作成に関しての協力依頼があった。

また、求人案内に関し、山崎理事長より、日本小児歯科学会は公益法人を目指しており、本会では求人案内に関しては別組織を設立し、ホームページからリンクする形態をとっているとの説明があり、本会の動向にあわせて、地方会でも検討する予定である。

### 4) 佐賀県学校歯科保健研修会講師派遣について

田中先生より資料4を参考に報告があった。

### 5) ニュースレターの原稿依頼

大倉先生より、ニュースレター作成状況について説明があった。

### 6) 専門医セミナーについて

久芳先生より資料5を参考に、平成27年2月8日(日)に北九州市小倉北区の真鶴会館で開催される専

門医セミナーの案内があった。講師は岡田 賢治先生（福岡歯科大学 小児科教授）：「小児の病気とワクチンについて」、花岡 洋一先生（東京歯科大学 法歯学講座 准教授）：「小児の虐待について」である。

#### 7) その他

①宮崎県の井上先生より、4月6日（日）に開催された第2回オープンセミナーの報告があり、感謝の意を述べられた。歯科医師63名、スタッフ76名、計139名の参加者があった。

②品川先生より本年度の保険改定のアンケートへの協力依頼があった。

#### 4. 議長選出

牧会長より田中克明先生が議長に推薦された。

#### 5. 審議事項

##### 1) 平成27年度九州地方会からかの講師派遣の県の選定について

牧会長より、沖縄県、熊本県、佐賀県、宮崎県において研修会を開催しての、平成27年度は鹿児島県、大分県どちらかでの開催が提案された。鹿児島県、大分県での開催の後、長崎県での開催を検討したい。

重田先生、木船先生先生ともに県歯科医師会と相談後、牧会長と開催について検討を行う。

また、予算的に可能であれば27年度に2県開催を検討する。

##### 2) 「子ども健康週間」への九州各県の参加について

各県の現状確認が行われた。主催の小児科学会の開催状況が各県様々であるため、対応が困難になっている。主催の団体への開催要請を小児歯科学会から行ってほしい、問合せ先が不明のため、各県の窓口を主催者側へお知らせしてはどうかなどの意見があった。

久芳先生より、主催が3団体あり交代するため、連絡方法が明確ではない。そのため、各県代表が各団体に積極的にアプローチする必要があると述べられた。

各県代表者が窓口になって頂き、行事確認後、積極的に参加して頂きたい。

##### 3) 九州地方会新規会員増のために

牧会長より、本年度地方会より学会会場に入会用ブースを作成し、会員増員を図りたいという報告があった。

品川先生より、小児歯科標榜して小児歯科学会会員ではない方に入会して頂きたい。そのため、大学教育や各県歯科医師会、個人による入会に関するメリットをアピール必要があると述べられた。

行成先生より、取得しやすいレベルの資格の設定に関する質問があり、山崎理事長より検討中と回答があった。

牧先生より、大学の医局員数（大学院生、研修医など）増加が会員増加につながるため、各大学教室員獲得を目指して頂きたいと述べられた。

保険点数に関する質問に対して、品川先生より、今後、新しい技術が出てこなければ保険点数が高くなることは困難であり、自費部門も含めてバランスよくすることしかないとの意見が述べられた。

藤原先生より、講師派遣の研修の際に、小児歯科学会への勧誘を行うことの提案があった。

奥先生より、本会広報委員会にて入会用リーフレットの作成準備を進めていきたいと述べられた。

#### 4) その他

①牧会長より、11月の役員会にて機構整備に対する検討結果を報告すると述べられた。

②久芳先生より、遠方より役員会参加の先生方への交通費の一部負担できないかとの提案があった。

本日の交通費を事務局へ算出し、検討することとなった。本会では、法人化後、必要経費のみで支給されている。また、井上先生より、交通費軽減のため、役員会日程を早く決定してほしいとの要望が述べられた。

③木船先生よりランチョンセミナーについて、企業からの金額供与に関して質問があったが、今大会では、金額供与はないことの報告があった。

④木船先生より、スタディグループの紹介に関して、紹介グループの選定方法について質問があった。スタディグループの紹介は前年度から踏襲である。今後活動報告などの提出について提案があった。今回のニューズレターに関しては、現在回答を頂いていない3団体に再度連絡し、回答が頂けた場合、掲載する。今後、各スタディグループに活動状況などの簡単なアンケート調査を行う、さらに、ニューズレターで数団体紹介を行っていくことの検討を行うこととなった。

## 6、総 評

入江先生より、こどもの健康週間参加、連携について、個人的つながりではなく、学会を窓口としたシステムを構築すべきと述べられた。また、スタディグループに関して、任意団体なので紹介は良いが、活動報告の提出を義務化するなどは考慮が必要ではないかと述べられた。

久芳先生より、広報委員の先生方よりホームページが充実してきており、今後新しいシステム、企画してほしいと述べられた。

## 7、閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。